2021

# 認知症を介護する家族主介護者のための

# エンパワーメント評価尺度

# Empowerment Assessment Scale for Principal Family Caregivers of Persons with Dementia：EASFCD

－EASFCD の手引き－

## １．認知症の人を介護する家族介護者のエンパワーメントの定義

「認知症高齢者を介護する家族主介護者が，被介護者である認知症高齢者と心身ともに安定した在宅生活を継続していくために，介護に関する自己効力感を獲得し，また，自己効力感を含む内発的な力を発揮して，認知症高齢者への関わりや BPSD※１への対応などにむけて適切に対処しようとした結果生じた心理状態」

※１ BPSD…認知症の心理・行動症症状（Behavioral Psychological Symptoms of Dementia）

## ２．EASFCD について

認知症を介護する家族主介護者のためのエンパワーメント評価尺度（Empowerment Assessment Scale for Principal Family Caregivers of Persons with Dementia：以下，EASFCD）は，「因子 1：介護の否定的感情」「因子 2：介護の知識・技術に関する自己効力感」「因子 3：介護に対する意識・結果・期待」「因子 4：介護への肯定的感情」「因子 5：被介護者との関係性」「因子６：相談相手の有無と情動的サポート」の６つの因子から構成される自記式質問紙の評価尺度です．質問項目は以下の通りで全 33 項目です．

※（　）内は因子名

質問１．自分は認知症という疾患に関する知識をもっている
（因子２：介護の知識・技術に関する自己効力感）

質問２．自分は要介護者様の訴えや行動に臨機応変に対応できる
（因子２：介護の知識・技術に関する自己効力感）

質問３．自分は認知症者に必要な社会資源（介護サービスなど）の知識を有している
（因子２：介護の知識・技術に関する自己効力感）

質問４．自分の介護に足りないと思う知識や技術に関する情報を集めることができる
（因子２：介護の知識・技術に関する自己効力感）

質問５．自分は声かけや介護によって要介護者様の良い反応を引き出すことができる
（因子２：介護の知識・技術に関する自己効力感）

質問６．要介護者様の行動に対して困ってしまうと思うことがある
（因子１：介護の否定的感情）

質問７．要介護者様のそばにいると腹が立つことがある
（因子１：介護の否定的感情）

質問８．要介護者様のそばにいると気が休まらないと思うことがある
（因子１：介護の否定的感情）

質問９．介護を誰かに任せたいと思うことがある
（因子１：介護の否定的感情）

質問 10. 要介護者様に上手く関わることができず落ち込むことがある
（因子１：介護の否定的感情）

質問 11. 介護に時間をとられ，趣味や社会活動ができずストレスに感じる
（因子１：介護の否定的感情）

質問 12. この先ずっと介護をすることに対して不安を感じる
（因子１：介護の否定的感情）

質問 13. 介護が楽しいと感じることがある
（因子１：介護の否定的感情）

質問 14. 要介護者様の介護をすることで，満足感が得られることがある
（因子４：介護への肯定的感情）

質問 15. 要介護者様を介護することで，自分が元気づけられたり励まされたりすることがある
（因子４：介護への肯定的感情）

質問 16. 要介護者様が些細なことで喜ぶのを見るとうれしくなることがある
（因子３：介護に対する意識・結果・期待）

質問 17. 要介護者様は私に感謝しているように思う
（因子５：被介護者との関係性）

質問 18. 介護を義務感ではなく，望んでしている
（因子４：介護への肯定的感情）

質問 19. 要介護者様への影響（言葉かけの内容やタイミングによっては，要介護者様の不安が強くなる，あるいは落ち着くなど）を考えながら介護している
（因子３：介護に対する意識・結果・期待）

質問 20. 自分が要介護者様を介護するのは当然のことだと思う
（因子 3：介護に対する意識・結果・期待）

質問 21. 介護や声かけによって良い反応（例えば，要介護者様の不安が鎮まったり，精神的に落ち着くなど）が得られることが重要だと思う
（因子 3：介護に対する意識・結果・期待）

質問 22. 要介護者様が新たな役割が持てるよう働きかけることが重要である
（因子 3：介護に対する意識・結果・期待）

質問 23. 要介護者様との病前の人間関係は良好であった
（因子 5：被介護者との関係性

質問 24. 要介護者様との現在の人間関係は良好である
（因子 5：被介護者との関係性）

質問 25. 介護の問題で他の家族と意見がぶつかることがある
（因子 1 ：介護の否定的感情）

質問 26. 家族・親戚は自分の気持ちをよく理解してくれている
（因子 6 ：相談相手の有無と情動的サポート）

質問 27. 自分が介護することで，要介護者様の良い反応（表情など）を引き出したい
（因子 3 ：介護に対する意識・結果・期待）

質問 28. 自分が介護をすることによって，訴えや行動面を少しでも良い方向に向かわせたい
（因子 3：介護に対する意識・結果・期待）

質問 29. 自分が介護することにより，生活が安定すればよいと思う（例えば，自分が介護をすることで他の家族も仕事，学業各々するべきことに専念でき，日々の生活を問題なく過ごすことができるなど）
（因子 3：介護に対する意識・結果・期待）

質問 30. 要介護者様の世話をするのが自分の生きがいになっている
（因子 4 ：介護への肯定的感情）

質問 31. 相談できる家族がいる
（因子 6：相談相手の有無と情動的サポート）

質問 32. 相談できる親戚がいる
（因子 6：相談相手の有無と情動的サポート）

質問 33. 相談できる友人・知人がいる
（因子 6：相談相手の有無と情動的サポート）

## 3．質問に対する回答

「4 点：とてもそう思う」～「1 点：全くそう思わない」もしくは「常にいる」～「全くいない」の 4 段階で評価します（資料）．自記式の質問紙ですが，高齢の介護の方で質問紙が読みにくいなどの問題がある場合は，質問項目の内容を伝えるなど補助をしてください．記入していただいている時点の心情や状況にお答えいただくようにお願いします．

## 4．逆転項目

質問 6， 7， 8， 9，10，11，12，25 は逆転項目です（因子 1：介護の否定的感情）．合計点を計算する際は「4 点→1 点」「3 点→2 点」「2 点→3 点」「1 点→4 点」として計算してください．

## 5．点数と解釈

4 段階評価 33 項目の 132 点満点であり，点数が高いほどエンパワーされている状態であることを示します(カットオフ値はありません)．ただし，介護を一人で抱え込んでいる家族主介護者で介護への意識が高すぎるあまり※2，点数が高くなるというケースもあります．採点結果と合わせて，家族との関わりや対話による評価も行い総合的な解釈をしてください．

※2 「この人は私がついていないとダメ」など，共依存的なケースなど

問い合わせ先
菅沼　一平
大和大学　保健医療学部　総合リハビリテーション学科
E-mail　suganuma.ippei@yamato-u.ac.jp
gunsmg85@yahoo.co.jp

【参考文献】

1．菅沼一平，南 征吾，中西亜紀，岡田進一：認知症の人の家族介護者（主たる介護者）に対するエンパワーメント評価尺度の開発．厚生の指標 67(2)，38-47（2020）
2．菅沼一平，中西亜紀，上城憲司，岡田進一：認知症の人を介護する家族の介護継続意志とエンパワーメントの関連．日本臨床作業療法研究 6(1)，60‐67(2019)　※オープンアクセス
3．菅沼一平，中西亜紀，上城憲司，岡田進一：認知症の人を介護する家族のエンパワーメントに影響を及ぼす要因．日本臨床作業療法研究 7(1)，16‐25（2020）　※オープンアクセス

【EASFCD 尺度　開発】

菅沼　一平（大和大学　保健医療学部　作業療法学専攻　教授）
岡田　進一（大阪市立大学大学院　教授・生活科学研究科長）

【協　力】

上城　憲司（宝塚医療大学　和歌山保健医療学部　教授）
佐上 雅宣（吹田市介護老人保健施設　作業療法士）
中西　亜紀（大阪市立弘済院附属病院　副院長）
南　征吾（大阪河崎リハビリテーション大学　講師）

【EASFCD 論文概要情報】

厚生労働統計協会 HP より「認知症の人の家族介護者（主たる介護者）に対するエンパワーメント評価尺度の開発」で検索

http://www.hws-kyokai.or.jp/paper/120-2016-02-15-03-07-32/2387-202002-6.html